

マルティーンヌ・リード教授講演会

Both one and many : becoming “Colette”

日時：2018年 12月7日(金) 15:30～17:00

場所：神戸大学 国際文化学研究科
学術交流ルーム(E410)

講師：マルティーンヌ・リード氏 (リール大学教授)
Professor Martine REID (Lille University)



Colette posant en faune,
photographie, 1904

協定校リール大学教授で、フランス文学における女性作家とジェンダー問題の研究者として著名なマルティーンヌ・リード教授による講演会（英語、通訳なし、配布資料あり）。20世紀前半に活躍したフランスの女性作家コレット（作品のみならず、ミュージック・ホールでパントマイム役者として舞台に立っていた経歴や、同性愛を含む恋愛遍歴でも有名）について、写真資料などを提示しながら講演(60分)。そのあと質疑応答(30分)を予定。

講師略歴

ベルギーのルーヴァン・カトリック大学卒業後、米国イエール大学でPh.D取得。イエール大学、フランスのヴェルサイユ・サン・カンタン・アン・イヴリヌ大学で教鞭をとったのち現職。ジョルジュ・サンドをはじめとする女性作家、スタンダール、バルザックなどについて多数の著作あり。また、ガリマール社FolioのFemmes de lettresシリーズをとおして、フランス語圏の女性作家の作品を精力的に再刊している。著書の日本語訳としてはマルティーンヌ・リード著『なぜ<ジョルジュ・サンド>と名乗ったのか?』（藤原書店、2014年刊）があり、さらに他にも出版の予定あり。